

地域

活動報告 「地域の声を市政に届ける」

現場にある様々な生の「一次情報」こそ、これからの市政に必要です。

7.15 毎年恒例の相浦みなと祭り
学生の頃から参加しています



9.15 敬老会でご挨拶
写真は大潟町1組公民館



11.14 農業者の方々と意見交換
写真は重尾のみかん産地



8.15 精霊流しの誘導係をお手伝い
@佐世保市総合グランド



9.15 浅子町の町民運動会
びん詰め競争に初出場



11.16 地域の若手で交流会
高島青年団×相浦青年会



8.18 地域の夏祭りへ
写真は新田町公民館夏祭り



9.19 学校の長寿化対策を視察
@日野小学校



12.15 地域の餅つき
写真は相浦築町町内会



ふじまるの #つぶやき

今回のふじまる通信新春号は2回目の市政報告となります。とても有難いことに、後援会の皆さんや大学の後輩たちがボランティアで配って下さっています。私事ですが、2歳の長男がふじまる通信を見ながら「パパ！」と私を探してくれる嬉しい出来事がありました。さらに、昨年11月、次男が誕生して家族が増えました。多方面でのサポートに感謝し、より一層頑張らなければと決意を新たにしています。



佐世保市議会議員 田山ふじまるプロフィール

- 1989年7月23日生まれ(30歳)
- 福岡県立宗像高等学校 卒業
- 長崎県立大学経済学部地域政策学科 卒業
- 衆議院議員・県議会議員の秘書を歴任
- 佐世保市議会議員に初当選(最年少)
- 文教厚生委員会 委員
- 石木ダム建設促進特別委員会 委員
- 会派:自民党市民会議
- 相浦青年会、消防団第26分団に所属
- 妻、長男、次男と愛宕町在住

ふじまる通信 2020 新春号

< 田山ふじまる事務所 > 佐世保市相浦町 220 TEL/FAX 0956-59-8762 080-1795-6159



佐世保市議会議員 田山ふじまる

< ご挨拶 > 2020年も宜しくお願いいたします。

新年がスタートしました。皆様には益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。日頃より一方ならぬお力添えを賜り、深く感謝いたします。昨年4月、市議会議員に初当選させて頂いてから、毎日が学びの連続で、反省する場面も多くありますが、後援会、地域の皆様の温かいご指導のもと日々の活動に打ち込んでいます。さて、本年は東京2020、わが国で56年ぶりにオリンピックが開催されます。まさしく新時代の幕開けであり、今こそ地域の活力を創出させ、次代に未来を繋ぐチャンスだと考えます。さらに本市では、地区防災計画の策定など、地域の防災力を強化し、安心安全なまちづくりの取り組みが重要な課題となっています。引き続き、初心を忘れず、新たな視点と発想で市政を推進して参りますので、何卒ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



佐世保市 LINE 公式アカウント 災害情報も発信中。ぜひ友だち登録を!!

本年も初心を貫き、邁進します

佐世保市の20年後、30年後の未来を見据え、まちづくりを提案。

File01 地域の声。対話が原点。



2019年8月16日 愛宕町の皆さんと座談会

File02 現場での学びを大切に。



2019年8月26日 佐世保市水産センターを施設見学

File03 若い力で一緒に汗をかく。



2019年8月13日 相浦青年会で夏祭りを企画

File04 現役の消防団員として。



2019年6月1日より入団 団員として地域防災の現場を学ぶ

小・中・高校生の自習室開設 モデル事業がスタート!

飲食店などで勉強している高校生を見かけます。「自宅では集中できない」との声も聞きました。また様々な家庭の事情で自宅での学習が困難な子どもたちもいるはず。そこで、私は6月議会で学習利用での公民館講座室の開放を提案しました。教育長から前向きに検討したい旨の答弁を頂き、今回、相浦地区公民館において**冬休み子ども学習室**の名称でモデル事業が実施されています。今後とも結果を検証しながら他地域への拡充、休日夜間の開放、公共施設のフリースペース活用など、新たな施策を提案します。

福岡県古賀市の自習室 先進事例



対話のための「市政報告会」を地域で開催中！ 2019年は11か所、今年も随時行います。



2019年10月9日
愛宕町公民館



2019年10月16日
棚方緑町公民館



2019年10月23日
浅子町公民館



2019年10月27日
小野町公民館



2019年10月30日
相浦築町公民館



2019年11月6日
相浦柳町公民館



2019年11月9日
高島町公民館



2019年11月13日
上相浦町公民館



2019年11月20日
日野本町公民館



2019年11月27日
八の久保町公民館



2019年12月4日
大瀧町1組公民館

相浦・日野地区を中心に開催しています。私から市政全般やこれからの新規事業について報告を行い、その後、座談会形式で質疑応答と意見交換を実施しています。

危険箇所など、地域からの要望をお聞きし、改善に向け取り組んでいます



現状調査
立ち合い



対策へ
事業着手



議員インターンシップ 学生と共に活動

昨年の8月・9月、長崎県立大学の学生を議員インターンシップとして受け入れました。今後も後輩の皆さんによる様々な活動や将来を応援し、若者と政治をつなげる役割を微力ながら果たしていきます。



2019年8月19日
長崎県立大学の学生と意見交換



2019年9月25日
学生と共に水陸機動団の訓練を見

一般質問 (2019年12月12日)

●一般質問とは・議員による議会における問題提起

一般質問とは、議員個人が市政の現状をチェックし、将来に対する政策提案を行うものです。さらに、議員が会派を代表して行う「代表質問」と議員個人が行う「個人質問」に分けられ、市長などが答弁に立ちます。議員は年4回の定例会(3・6・9・12月)で一般質問を行うことができ、市民も議場での傍聴、またインターネットによる中継や録画を見ることができます。

子ども・子育て施策について

Q. 本市は平成28年以降、15歳から49歳までの女性人口が年間平均1000人程度減少し、15歳未満の子ども人口も年間400人を超える規模で減少している。これは深刻な問題。早急に課題を把握して誘致したいターゲット層に狙いを絞り、子育て世代や若年者を呼び込む必要があるのではないか。

A. (市長) 女性や若い世代、子育て世代に選ばれる魅力あるまちづくりは積極的に進めていく必要がある。次世代を担う子どもたちを産み育てる方々に魅力ある街を目指し、知恵と工夫を総動員して取り組みたい。

水産市場の活性化について

Q. 高度衛生管理対策について・・・地元を歩くと、多くの方々から水産市場の活性化を望まれる声を耳にする。水産市場は施設の老朽化が深刻化しており、衛生管理対策が求められているが、施設の規模では使用料の増加、相当な維持管理コストが必要となり、使用者に過大な負担を強いる恐れがある。高度化と施設整備は将来を見据え、過大な投資を避けつつ、適正な規模で行うべきであり、事業者との綿密な調整をより一層強化していただきたい。

A. (農林水産部長) 現在、水産業界の意向を反映した施設となるよう実施に向けた整理を内部で行っているところだ。

Q. 関連棟と水産加工団地について・・・市場の背後地に整備された水産加工団地が十分に活用されておらず、市場の機能強化や相浦地域の活性化に繋がる企業誘致を行うべきではないか。また、市場に隣接する関連棟も本格的に活性化へ取り組むべきだ。

A. (農林水産部長) 水産加工団地は再整備する計画で速やかに企業誘致を進める。関連棟活用は業界と調整を図り、検討したい。

長崎県立大学大学院への 職員入学について

Q. 本年4月より新設される県立大学大学院の地域創生研究科地域社会マネジメント専攻に本市職員の入学公募を行っているが現在の志願状況はどうなっているか。行政職の皆さんが大学院で学んだことを継続的に活かせる仕組みも必要だ。また、時間割が過密であり、公務に支障が及ばないよう報酬や諸手当は出ないが欠勤扱いにもならない範囲で大学院での研究活動に充てられる柔軟な仕組みも検討してはどうか。

A. (総務部長) 当初は14名の参加希望があり、実際の公募には7名の職員が手を挙げた。今後は勤務しながら大学院に通学するため短時間休業を取得する「修学部分休業制度」の導入も検討しつつ、本市と大学との連携、将来を担う主体的な人材育成を図りたい。

災害時の要支援者対策について

Q. 災害時、一般の避難所での生活が困難な要支援者には福祉避難所として高齢者施設や障がい者支援施設で受け入れが行われる。しかし、本市で指定してある福祉避難所は42箇所、受け入れ可能な収容人数は319人、要支援者の数は1万1000人であり、収容人数がまったく足りない。さらに、長崎県は各市町に福祉避難所の公開を求めており、県内21市町のうち、長崎市をはじめ14の市町がHP上での公表を行っているが、本市は行っていない。市民に事前の周知を図りながら、福祉避難所の役割について広く伝えていくことが重要ではないか。

A. (保健福祉部長) 1人でも多くの要支援者へ対応ができるよう福祉関係施設に引き続き協力を要請する。また、福祉避難所の公開は関係者と協議して検討したい。